

北摂 SITA 10月例会 勉強会資料

「簡単・安価にできるホームセキュリティー」

2017/10/15

WEB カメラやいろいろな防犯機器がありますが、 Web カメラへの不正アクセスなどちょっと気をつけねばならない場合がありますが、今回紹介するのは USB カメラなどを使った映像監視システムです、比較的不正アクセスを受けにくいシステムだと思います
それ以外にも各種情報通信機器（パソコン、タブレット、固定電話、携帯、スマホ）を使ったホームセキュリティーを紹介します

ホームセキュリティーの考慮すべき対策ポイント

- 1、 特殊詐欺への対策
- 2、 住居への不正侵入監視
- 3、 家族の安否見守り

1、 特殊詐欺への対策

なんでそんなのに引っかかるのと思うほど、多額の金額をだまし取る手口

- A、 詐欺師は家族しか知りえない情報をしっかり仕入れており、その情報をもとに警戒心を解く
- B、 詐欺グループには役者が沢山おり、タイミングよく役者が登場し、あれよあれよと乗せられる
- C、 新しい手口が次々現れ、騙されない方法を知っていても、新手に騙される

対策

詐欺師は標的の人物とだけやり取りしたいので、他人に相談されるのを一番警戒する、そこで音声を録音されるのを嫌います。

A、 電話など必ず録音するメッセージを流す設定にすると共に録音開始（自動）するよう設定する
最近では2万円以下で録音や着信時メッセージを流す機能、番号表示、鳴り分け機能電話があります

パナソニックの回し者ではありませんが1例を紹介

The screenshot shows three product listings from Panasonic:

- Product 1:** パナソニック デジタルコードレス電話機 子機1台付き 迷惑電話対策機能搭載 ホワイト VE-GD25DL-W (Panasonic). Price: ¥ 5,648 (prime). New: ¥ 5,648 (13 items), Used: ¥ 3,800 (2 items).
- Product 2:** パナソニック デジタルコードレスFAX 子機1台付き 迷惑電話対策機能搭載 ホワイト KX-PD205DL-W (Panasonic). Price: ¥ 12,036 (prime). New: ¥ 12,036 (25 items), Used: ¥ 9,800 (4 items).
- Product 3:** パナソニック デジタルコードレス電話機 子機1台付: 1.9GHz DECT準拠方式 ホワイト VE-GD53DL-W (Panasonic). Price: ¥ 10,333 (prime). New: ¥ 10,333 (13 items), Used: ¥ 4,880 (5 items).

B、 電話は発信者番号表示サービスを電話会社と契約（200円～300円/月）したうえで、着信電話は必

ず番号表示し着信選別を可能にする設定を行う（これはかなり効果があります）

例えば、番号非通知は着信拒否、電話帳の登録有無で呼び出し音を変更し、電話に出る前に氏名確認、見知らぬ電話の場合、警戒する心の準備ができる。ちなみに非通知電話は早朝が多い、寝起きの判断力のぼやけている時間帯を狙っている。（我が家の着信記録による）

eo光電話バックアップ

電話をもっと安心・安全に使いたい方におすすめ！

発信者番号 表示 サービス 200円/月	※1 複数通話 サービス 200円/月	※2 割込電話 サービス 200円/月	転送電話 サービス 200円/月
--------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

私は eo 光電話の回し者ではありませんが 1 例を紹介します

住居への不法侵入監視（泥棒の早期発見と対策）

住居の不法を未然に防ぐには、

- 1、情報機器を駆使する USB カメラの利用 （本日のメインテーマ）
- 2、情報機器に守られていることを、家の外から分かるようにする
 - A、カメラが外から分かるようにする
 - B、人感センサー付きライトを設置する
 - C、カメラ設置中の表示をする

本日のメインテーマ

住居への不法侵入監視と家族の見守り

USB カメラの利用とスマホ転送

準備するもの



- A、パソコンまたはタブレット PC（USB 付が推奨）内臓カメラでもよい
- B、USB カメラ
私は amazon の回し者ではありませんが 1 例を紹介します
- C、USB 延長ケーブル USB2.0 A オス-A メスタイプ 5m) 1000 円程度
パソコンと離れた場所にカメラを置く場合 最大 8 M まで
- D、監視ソフト（Live capture 3）フリーソフト

監視用ソフトの使い方

1、ソフトのダウンロード

<http://www2.wisnet.ne.jp/~daddy/Download.html> からダウンロード

最新版ダウンロード

名称	バージョン	更新日	サイズ
LiveCapture3	Ver 3.0.6.50515	2015/5/15	734.877 バイト

※事前に以下をインストールしてください
Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ (x86)
DirectX エンドユーザーランタイム Web インストーラ

ここをクリック



保存をクリック

ここをクリック

最新版ダウンロード

名称	バージョン	更新日	サイズ
LiveCapture3	Ver 3.0.6.50515	2015/5/15	734,877 バイト

※事前に以下をインストールしてください
Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ (x86)
DirectX エンド ユーザー ランタイム Web インストーラ

Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ (x86)

言語を選択:

[ダウンロード](#)

Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージは、Visual C++ で開発されたアプリケーションを Visual C++ 2010 がインストールされていないコンピュータ上で実行するために必要な、Visual C++ ライブラリのランタイム コンポーネントをインストールします。

ダウンロードをクリック

ここをクリック

最新版ダウンロード

名称	バージョン	更新日	サイズ
LiveCapture3	Ver 3.0.6.50515	2015/5/15	734,877 バイト

※事前に以下をインストールしてください
Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ (x86)
DirectX エンド ユーザー ランタイム Web インストーラ

DirectX End-User Runtimes (June 2010)

Language:

[Download](#)

This download provides the DirectX end-user redistributable that developers can include with their product.

ダウンロードをクリック

まずは vcredist_x86.exe、Lc3_3_06_50515.zip、dxwebsetup.exe の3つをダウンロード

インストールは次ページに記載

vcredist_xxx.exe を W クリックで起動
xxx の部分は 32 ビット、64 ビットで変わります
ユーザーアカウント制御「はい」
マイクロソフトライセンス条項 同意しますにチェック
「インストール」をクリック
インストールが完了しました「完了」をクリック
以上 Visual C++のインストール

Dxwebsetup.exe を W クリックで起動
ユーザーアカウント制御「はい」
directX セットアップ開始「同意します」にチェック
「次へ」
Bing バーを無料でご利用いただけます
「Bing バーをインストール」 **チェックを外す**
「次へ」
再び次へ しばらく時間がかかります（数分）
完了をクリック
以上 DirectX のインストール

LiveCapture3 を W クリック
セットアップによろこそ
次へ
セットアップフォルダーを指定
次へ
再び次へ
ユーザーアカウント制御「はい」
インストール完了しました「閉じる」
デスクトップに Livecapture3 のアイコンが出来ています
これを W クリックで起動
カメラに名前を付ける
名称を適当につける pc camera など
次へ
カメラの選択画面が表示されます、PC に接続されたカメラを選択
完了をクリック
これで基本設定は終わり、画面から Livecapture3 が消え
タスクバー「隠れたインジケーター」にアイコンが入ってしまいます

以上 LiveCapture 3 のインストール

2、 Livecapture3 の使い方



インストール後デスクトップにアイコンが出来ます

アイコンを W クリックし起動 起動しても画面に出ない場合はタスクバーにアイコンがないか探す
隠れたインジケータ内(↑)にある場合もあります

ステップ1、 カメラの登録



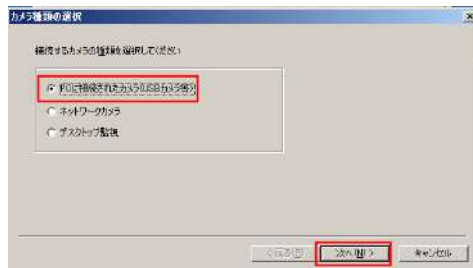
カメラを接続する

まず Live Capture を起動するとカメラの選択です。

設定ボタンをクリック



設定画面の「デバイスの変更」をクリック



使用しているカメラに合わせて
チェックを入れてください。

「次へ」をクリック

* ここまではすでに完了しています

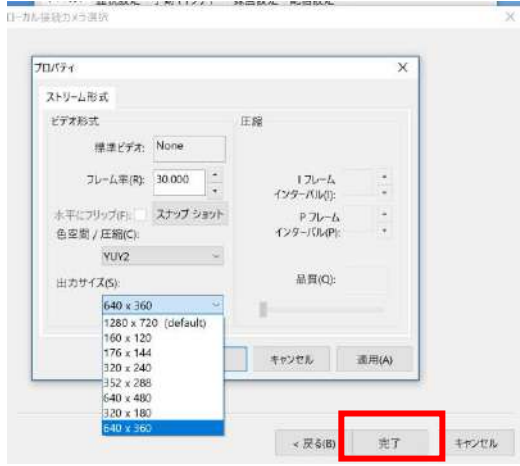


「出力設定」をクリック

音声(音)でキャプチャー開始したい場合

「音声をキャプチャーする」にチェックを入れる

大きな物音に反応する設定が出来ます



「出力設定」をクリック、プロパティ「ストリーム形式」「出力サイズ」で

次に画像のサイズを選びます。

640×480 より大きなサイズが良いでしょう

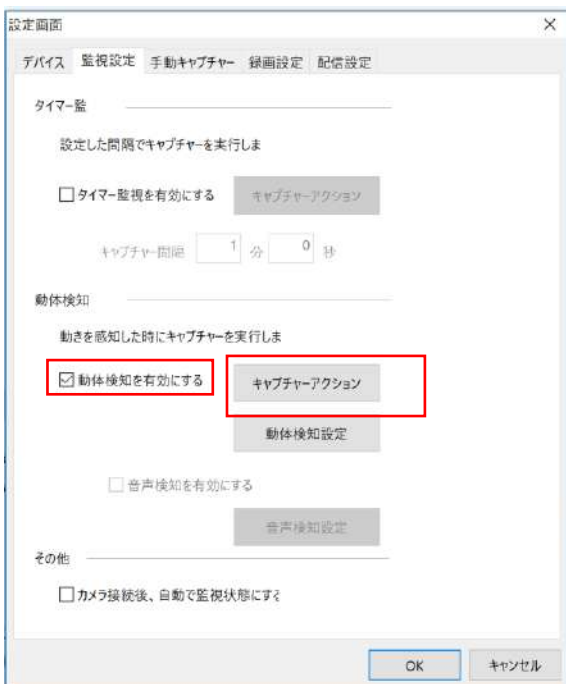
OK をクリック。引き続き完了をクリック



カメラに名前も付けられます。

「OK」を押してカメラ設定終了。

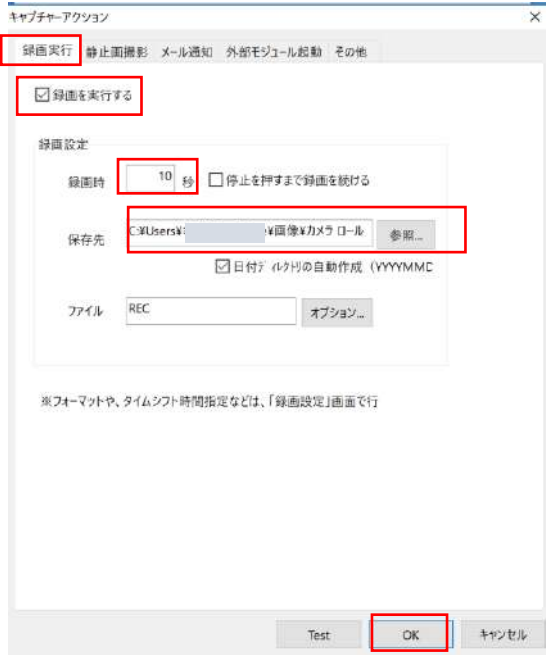
ステップ2、 監視設定(キャプチャーアクション)



続いて「監視設定」のタブを選択。

「動体検知を有効にする」にチェックを入れて、「キャプチャーアクション」を開いてください。

音声でキャプチャーを開始したい場合は「音声検知」を有効にするにチェック



録画実行するにチェック

録画時間を設定あまり長いとデータ量が大きくなるため注意

時間は用途に応じて 不正侵入監視なら 10 秒程度

介護見守りなら 30 秒程度

保存先を設定 参照ボタンを押し、フォルダーを指定、サーバーやクラウドなども可能です(例 MS の OneDrive など)

テストボタンを押し、保存状態を試すことが出来ます

問題なければ OK をクリック



「静止画撮影」のタブを開いて、「静止画を撮影する」にチェック。



画像設定ボタンで設定できる項目



元のキャプチャーアクションに戻り「メール通知」タブを選択

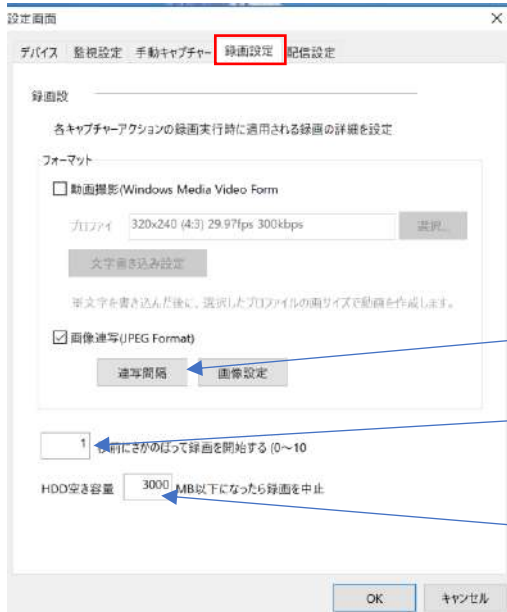
動体検出や音声検出された場合にメールでスマホなどお知らせする機能の設定を行います

「メールで通知」にチェック

メール送信サーバー名 ポート番号 送信元アドレスを入力

認証設定が必要なプロバイダーの場合は「認証設定」ボタンをクリック





「録画設定」タブを選択

動画撮影し保存したい場合は「動画撮影」にチェック

ただし、保存ファイルの容量が大きくなるのでスマホで受信するには不向き

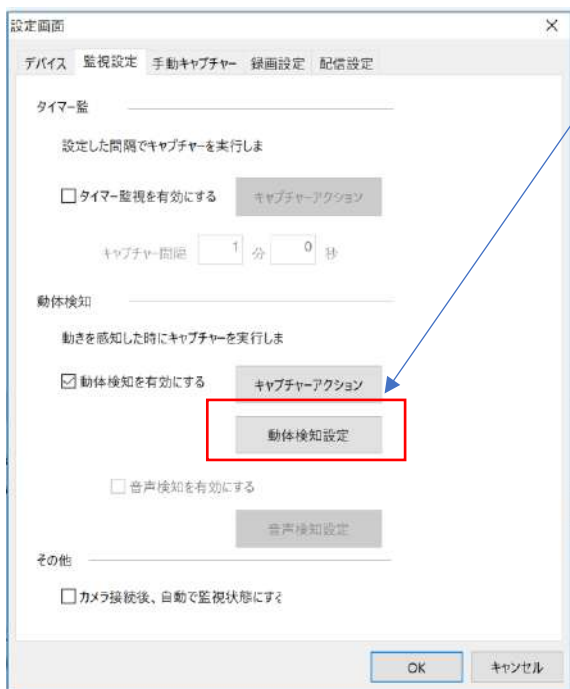
静止画保存の場合は「画像連写」にチェック

「連写間隔」ボタンをクリックし 任意の間隔 300ms 程度に設定

動体検知設定秒前から録画することも可能です

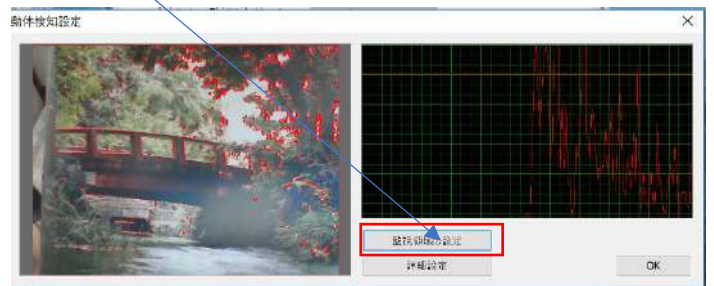
あまり多くの HDD を使用するのを避けるために
HDD の空き容量の限度を設定する

ステップ3. 監視設定(動体検知設定)



次は「監視設定」の「動体検知設定」です。

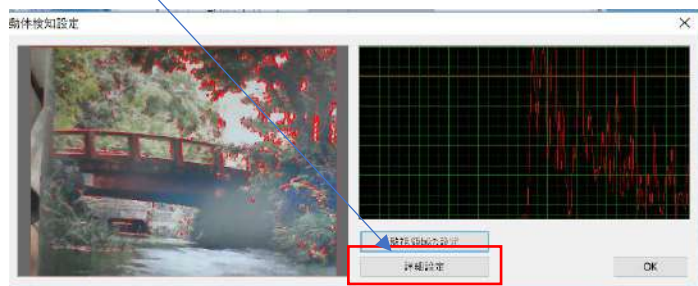
まず「監視領域の設定」をします。



始めに表示されている「Default Area」はカメラに写っている全域を指しています。

ここに、ピンポイントで特に監視したいところがあれば「追加」で監視領域を増やすことができます。

「詳細設定」では検知感度を設定します



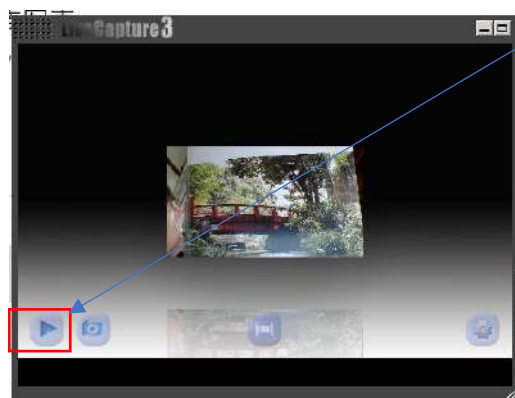
デフォルトでは 感度 75 閾値 10 になっています。

おすすめは 感度 90 で 閾値 5 です。

感度をあげて、閾値を下げると、動体検知の反応が敏感になります。

カメラの置いてあるテーブルが揺れたり、電気をつけたり消したりするだけでも反応してしまうことがあります。

ステップ3、監視開始

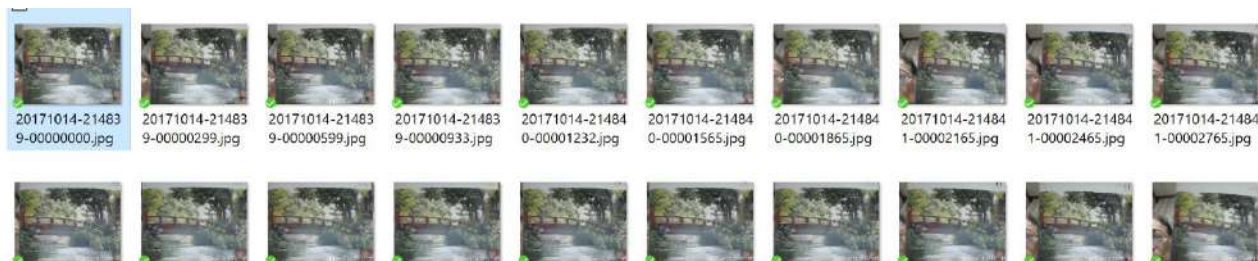


監視開始ボタンで監視開始

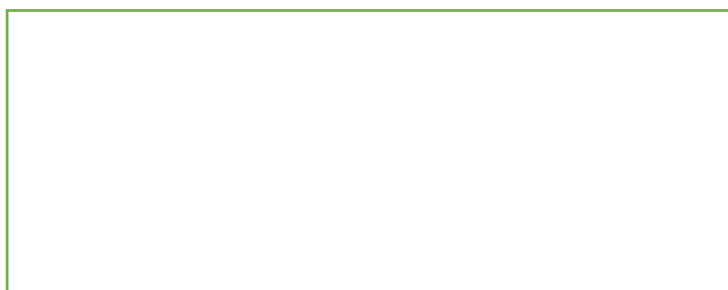
監視終了は再び同じ場所のボタンをクリック

Livecapture3 を完全に終了する場合はタスクバーの(または隠れたインジケータ)に Livecapture3 のアイコンを右クリックし「終了」をクリック

ステップ3、保存データの確認



着信メールの内容



我が家の監視

ok: [redacted] [ス帳に追加](#)

宛先: [redacted]



[スライドショーを表示](#)

以上